

平成30年 3 月 市長定例記者会見

2018年 2 月19日(月)

午前11時00分 開始

【秘書広報課長補佐】 お待たせをしました。

ただいまより平成30年 3 月市長定例記者会見を始めさせていただきます。

本日の会見の進行につきましては、お手元の次第のとおり、最初に市長の挨拶、その後、事業発表をいたします。質問につきましては、事業発表についてからお願いいたします。事業発表の質疑応答終了後に、次第の 3 番目、フリーの質疑応答へと進行したいと思っております。

なお、ご質問の際は、ご自席のマイクのスイッチを入れていただき、ご質問の後は切っておりますようお願いいたします。

終了は12時を予定しております。ご協力お願い申し上げます。

それでは、市長、よろしくお願い致します。

【市長】 皆さん、こんにちは。

まず最初に、このたび国民健康保険税の資産割額について課税誤りがございました。当事者の皆さんをはじめ、市民の皆様にご迷惑をおかけし、心からおわび申し上げます。

課税の誤りの内容につきましては、お知らせをいたしましたとおり、国民健康保険税の資産割額について、固定資産税のうち土地及び家屋に係る部分の額に100分の25を乗じて算出することになっておりますが、構築物や機械などの償却資産も加えた固定資産税額全額に対し100分の25を乗じて算出したものでございます。対象者及び返還額につきましては、国民健康保険税の課税状況が確認できます平成24年度以降の 6 箇年につきまして調査いたしましたところ、課税誤り件数が35件、重複しておりますので還付対象者は14世帯、還付可能額は35万7,100円でございます。

平成24年度より前の年度につきましては、国民健康保険税の課税状況が不明であるため、対象者、金額等は算出できない状況でございます。平成23年度以前の分につきましては、固定資産税の納税通知書及び国民健康保険税の納税通知書をお持ちいただければ確認させていただきますので、特に対象者は個人の事業者の方ですので、ご確認いただければと思います。

まことに申しわけございませんでした。

あと、1 週間ほどかけてましてポーランドとリトアニアのほうに行かせていただきました。それぞれのところで、ポーランドにつきましては議員団の方とお話もできましたし、リトアニアにつきましても大使館のほうでいろんな方とお話をすることができました。それぞれのところでつながりができてきたというふうに思っております。また、官邸・国際広報室のほうではフェイスブックでご紹介もいただきましたので、そういう意味では、少しずつ人道の港も世界的に広げていけるのかなというふうに思っております。

きょうは予算及び新幹線の駅舎デザイン等もございますので、どうぞよろしくお願い致します。

【秘書広報課長補佐】 次に、事業発表をお願い致します。

【市長】 発表項目は 2 件ございます。平成30年度当初予算案及び平成29年度 3 月補正予

算案の概要について、それから北陸新幹線敦賀駅舎デザイン推薦案の決定についてでございます。

それでは、平成30年度当初予算、平成29年度3月補正予算概要につきまして申し上げます。

当市の平成30年度当初予算は、第6次敦賀市総合計画後期基本計画「敦賀市再興プラン」の計画期間の中間年に当たることから、プランに掲げた施策について、これまで積み重ねた取り組みをさらに深化させ、「魅力と活力あふれる港まち敦賀」再興の具現化に重点を置くとともに、様々な課題や先行きが不透明な地域経済状況の変化に対応すべく、限りある財源の積極的な予算配分を行いました。

このため当初予算編成に当たっては、地域経済活性化等に向けた積極的な予算配分の中においても収支の均衡を保つため、行財政改革の取り組みを進めながら、事業の見直し、各種目的基金からの繰入等を行うとともに、国庫補助金の積極的な活用を図りました。

予算計上事業につきましては、「敦賀市再興プラン」に基づく施策を着実に推進するため、予算編成方針に掲げた地域経済対策をはじめとした重点施策に該当する事業を中心に予算配分を行うとともに、福井しあわせ元気「国体・障スポ」の開催や、広域避難先との交流、大型クルーズ客船ダイヤモンド・プリンセスの寄港歓迎など、本年度に引き続き、敦賀の魅力を発信するための事業についても多数予算化しております。

当初の主な事業といたしましては、お手元に配付した資料のとおりですが、重点施策ごとに申し上げますと、「特色と強みを活かした産業の振興と地域経済対策」では、もんじゅの廃止措置に伴う国からの支援を積極的に活用し、将来における産業構造の複軸化に取り組んでまいります。まず、ハーモニアスポーツ構想については、構想策定に先駆け、その先導事業として、新産業の創出に向け、民間部門が本市において実施する新技術の研究開発に対する支援や、再生可能エネルギー設備の導入可能性調査に係る経費を計上いたしました。また、地域経済の活性化や雇用の安定化を図るため、企業立地補助金や第2産業団地整備に係る事業費を計上いたしました。

「人材育成・子育て支援の充実」では、子育てしやすい環境づくりを推進するため、松原、中央児童クラブ等の整備費用や、新たに設置を予定しております病児・病後児保育施設の設計費用、さらには社会福祉法人が行う乳児院・児童養護施設の整備に対する補助金を計上いたしました。また、平成33年度の開校に向けて準備を進めております角鹿中学校区における小中一貫校整備に係る実施設計の経費や、本年9月から10月にかけて開催されます福井しあわせ元気「国体・障スポ」に係る負担金を計上いたしました。

「新しい交通ネットワークの形成と市街地の活性化」では、平成34年度の北陸新幹線敦賀開業に向けた周辺施設の整備を行うため、新幹線駅前広場や周辺道路等の設計費用を計上するとともに、開業後の二次アクセスとしても有効なバス交通の利便性を向上するため、スマートフォン等による乗換検索や位置情報検索を可能とするシステム導入経費を計上いたしました。また、開業を迎える中で、官民が連携し、開業準備を効果的に進めるための指針となる行動計画の策定に係る経費や、都市機能の集約を図り、計画的なまちづくりを進めるための立地適正化計画策定に要する費用を計上いたしました。

「災害に強い「ひと」・「地域」・「まち」づくり」では、本市の防災・災害拠点として、本年度、基本構想の策定が完了しております新市庁舎の建設について、基本計画・基

本設計に係る経費を計上いたしました。また、地域の防災力強化、市民の防災意識向上を図るための市民参加型の総合防災訓練実施に要する経費や、全国瞬時警報システムの受信機の更新経費、さらには災害時における避難所での生活環境向上のための災害用マンホールトイレ整備に係る経費を計上いたしました。

次に、平成29年度3月補正予算について申し上げます。

一般会計では、職員の早期退職に伴う退職手当や、ふるさと納税を通じて全国からお寄せいただいている寄附金の各種目的基金への積立金、1月下旬の降雪により不足を生じる道路除雪に係る経費を計上いたしました。また、平成30年度当初予算に計上予定であった、栗野南小学校の給排水設備改修に係る工事費について、国の補正予算の獲得を目指し、前倒しで計上いたしております。

特別・企業会計につきましても、事業費の決算見込みにあわせ予算を計上いたしました。

以上が3月議会に提案します予算の概要でございます。

次に、北陸新幹線敦賀駅舎デザイン推薦案の決定についてであります。

昨年11月9日に鉄道・運輸機構から提案のありました新幹線敦賀駅舎デザイン案3案のうちデザイン推薦案を決定いたしましたので、ご報告いたします。

A案、B案、C案の中からアンケート結果や専門家の意見を参考に選定したデザイン推薦案はC案でございます。

推薦理由といたしましては、出前講座を通じて将来の敦賀を担う子供たち、特に中学生や高校生から特徴的な大屋根ときらめく壁面のデザインに多くの支持があったこと。2つ目としましては、市外を含め全体的なアンケート結果を見てもC案を支持する意見が多かったこと。3番目としまして、専門家で構成する駅周辺デザインガイドライン専門部会においても、本市が要望したデザインコンセプト「空にうかぶ～自然に囲まれ、港を望む駅～」との整合性が一番図られていることなどが挙げられます。また、C案の特徴的な大屋根は、遠くから見てもすぐにわかるランドマークとなり、トップライトからの光は未来への道標となるよう期待が込められております。

今回、デザイン推薦案を決定するに当たり、市民等の皆様から北陸新幹線の敦賀開業に思いをはせ800件を超える多数のご意見をいただきましたことに心から感謝を申し上げますとともに、今後とも、鉄道・運輸機構やJRと協力しながら市民に親しまれる駅舎となるよう取り組んでまいります。

なお、本日午後から鉄道・運輸機構大阪支社へ向かい、^{たてぬま}蓼沼大阪支社長へ推薦書を提出する予定です。

発表項目は以上でございます。

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいま発表いたしました項目について質問を受けたいと思います。

最初に、幹事社さん、お願いします。

【記者】 リトアニア、ご苦労さまでした。

今回の予算なんですけれども、テーマが4つあるんですかね。その中で市長が最も力を入れているというか、思いが強いのはどこにあらわれていますか。

【市長】 一番力を入れるということなんですけれども、ことしは国体もありますので、国体についてはしっかりやっていかなくてはいけないというふうに思っておりますし、それと

産業の振興と地域経済対策ということを進めていきたいと思っております。またもう一つは、子育て支援の充実ということではいろんな予算を組んでおりますので、そのことについても取り組んでいきたいというふうに考えています。

一つじゃないですけども、済みません。

【記者】 もう一つ関連で、今回、ハーモニアスポリス構想の先導事業をつけて、この構想は中長期的というふうにおっしゃっていましたが、今回つけた予算を見ると具体化を早期に目指しているのかなということをうかがえたのですが、その辺の思いなんかはありますか。

【市長】 部長のほうから答えると思います。

【企画政策部長】 おはようございます。

ハーモニアスポリス構想につきましては、平成30年度をもちまして策定は終了ということでございます。ただ、各議会を通じまして議員さん方にも、できるだけ短期で取り組めるようなものにつきましては先導事業として実施していきますというふうなお約束もしておりますので、その一環としての今回の先導事業ということでございます。

【記者】 1億円の補助をつけるんですか。額についてはかなり大きな額かなと思うんですけども、実際、見通しみたいなのはあるのでしょうか。

【企画政策部長】 事前に企業ニーズ調査というのを実施しておりまして、その中で十数社につきましてニーズ調査を行っておりまして、その中の感触としまして3件程度は出てくるのではないかと、こういった予測の中で3件、1億円上限ですので1億円の3件分として3億円計上させていただいております。

【記者】 わかりました。ありがとうございます。

【記者】 市長、お疲れさまでした。

私もハーモニアスの関連なんですけど、こういった中身を見てみると、結構、条件とかも、敦賀市内での研究開発、成果の事業化が行われたりとか、あと雇用の増加等の効果が発生することを条件とする。なかなか、ここで研究開発して、ここで雇用が生まれるという、条件としては高いと思うんですけども、そこまでして1億円という補助を出すということに関して、かなり市長の思いも強いと思うんですけども、この補助をしてここで研究開発が行われることによって、今後、敦賀市にとってどういうことが期待できるのかというようなことがあれば、市長の思いがあれば教えていただきたいんですけども。

【市長】 水素エネルギーの整備ということで、国の支援を受けながらということになりますけれども、しっかりと研究拠点となるような、スタートになれるようにしていきたいと思っていますし、それプラス雇用も発生するような仕組みができればいいというふうに思っています。

具体的な中身については、私のほうでは余りよくわかっていませんので、部長のほうから答えます。

【企画政策部長】 ちょっと補足させていただきますと、財源としましてエネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金、今年度、全国で5億円ふえましたが、50億円となりましたけれども。これを全て100%財源としておりまして、この補助金の要項といいますか条件に合うような形での補助の仕方をとっております。市長のほうからもありましたように、敦賀市をそうした水素エネルギーとか再生可能エネルギーを含めたそういった

ものの研究拠点あるいは研究施設等も要望しておりますので、そうした中での足がかり的な位置づけになってくるのではないかと、こういうふうに考えております。

また将来的には、今回は第1フェーズといたしまして、敦賀におきましてそうした新産業、研究開発を行っていただいて、第2フェーズとしまして、またハーモニアスポーツ構想圏域内を含めた他の団体との連携のもとでの新産業等の創出、育成、展開とか、そういったものを考えております。

【記者】 ちょっと追加でお聞きしたいんですが、一応「新産業」と書いてありますけれども、基本は水素とか再生可能エネルギーの研究開発ということに重点を置いているということでしょうか。

【企画政策部長】 対象としまして、製品の省エネルギー化、あと製造工程の省エネルギー化、また使用電力の再生可能エネルギー化、この3つが対象となっております。

【記者】 わかりました。

あともう一つなんですけれども、市長、予算全体のことなんですけれども、先ほど重点を置いていることは聞きましたけれども、今回の予算を一言で言うと、こういった予算だというふうに。

【市長】 さっきいろいろと悩んだんですけれども、去年が敦賀の宝・魅力発信予算だったんですけれども、ことしは未来への遺産・レガシー創造予算というふうに呼んでいただけたらうれしいなと思っております。

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社伺います。発表項目につきまして質問がありましたら挙手をお願いします。

【市長】 先ほどこれを見せるように言われていまして、忘れていました。C案です。

【記者】 お疲れさまでした、リトアニア。

新幹線の件なんですけれども、先ほど理由は説明していただいたんですけれども、市長個人としては、C案のこういったところを評価しているというのがございましたら。

【市長】 難しいことを聞きますね。海面から鳥が飛び立つような、きらめくようなイメージがありますので、シンボルとして、ランドマークとしてすばらしいんじゃないかなというふうに思っております。私が聞いた人は違うことを答えたりされましたけれども、投票的にはA案とC案がすごく拮抗してまして、その中でC案のほうが、専門部会でもお勧めということですので、いいと思います。

【記者】 お疲れさまでした。

今のデザインで、アンケート調査802票で、内訳、A何票、B何票と教えてもらえますか。

【市長】 部長のほうで、わかっていれば答えます。

【都市整備部長】 今回の案のご質問の何票という部分につきましては、いろいろアンケート等もさせていただいて、800件を超えるご意見をいただいて、非常に感謝をしているところでございます。

ただ、今回、私どもで実施をしましたこの新幹線駅舎のテーマに、いろんな場所を通じて多くの人たちからの話をお伺いする中で、まず興味を持っていただきたいという思いで説明をしてきたところでございます。そういった意味も含めまして、このアンケートの内容につきましては、賛否をとるといような、これがいい、これが悪いとかというようなアンケートの聴取はしてこなかったところでございます。

そういった意味で、今ご質問にありますように、数字的にAが何票とかという集計はしてございません。そういった積極的なご意見をまとめていく中で、全体の意見として、市長のほうから申し上げたようにC案に決定したというところでございます。

以上でございます。

【記者】 あと、今後のこのデザインに関する工程を教えてください、きょう以降の。

【都市整備部長】 先ほど市長からもお話があったように、この後、午後から鉄道・運輸機構さんのほうに出向きまして、お手元でございます推薦案を提出していきたいというふうに思っているところでございます。

その後のスケジュールといたしましては、今後、鉄道・運輸機構では、この案に基づきまして実施設計を進めていただいて、また内容等も含めた実施デザインの検討に入っております。おおむね平成30年度末にパンフレット等で機構のほうから最終決定がされるというふうに聞いているところでございます。

以上でございます。

【記者】 じゃ、平成30年度末に最終のデザインが決定するということでもいいですかね。

【都市整備部長】 内装も含めて。

【記者】 わかりました。ありがとうございます。

【記者】 市長、視察お疲れさまでした。

その件でちょっとお伺いしたいんですが、いろいろ新聞報道でも出ておりますが、今回、リトアニアですとかポーランドへ行かれて、何か改めて感触というか、決まったことであつたりとか今後の方針とか、そういった感触とかを教えてくださいと思います。

【市長】 一つは、リトアニアのカウナスで、杉原記念館があるんですけども、そこに私どもが持っております大迫アルバムのレプリカをお渡しすることができました。それを通じて、展示していただきながら皆さんに見ていただくということをおっしゃっていただきました。

そしてまたもう一つは、映像があるんですけども、映像について私どもがお渡ししている一つの映像がございますけれども、少しバージョンアップをしたり、英語とか現地の言葉でできるものがないかなというお話でしたので、字幕とかそういう対応ができたやつを準備しましょうという話をしてきました。

もう一つは、ポーランドのほうですけども、ポーランドでも大使館で会食をさせていただいたり、国会議員さんたちとお話をさせていただいたんですけども、その中でお話を聞いたのは、ポーランドにとってもユダヤ難民はポーランドの人が多いのでありがたいということと、もう一つは、シベリア孤児というのは、ポーランドの独立をするために犠牲になった人たちがシベリアに抑留された、連れていかれたと。その人たちの子供たちを助けてくれたということで非常に意義が大きいんですということをお話ししていただいたので、ポーランド孤児というのもすばらしい事業だったんだなということを改めて感じてきました。また今後、連絡をとり合っているいろいろやってみようと思います。ちょうどオリンピックの年がポーランド孤児100周年になりますので、それに向けて何かお互いにできたらいいねということで帰ってまいりました。

【記者】 今回行かれた感触としては、非常に成功とか、そこら辺の総括というか概要としては、市長の感想というのはいかがでしょうか。

【市長】 今回、何か得るものがあるから行ったわけじゃなくて、リトアニアのほうで建国100周年が2月16日でしたので、それに対するご案内をいただきましたから行ったわけなんです。ですから、カウナスでは杉原ウィークを毎年9月5日ごろの、ちょうど私どもの敦賀まつりの時期と重なりますので行けませんから、そういう意味では交流を深めるチャンスというのはなかなかないので、それについて行ったということです。何もなくても仕方ないなと思って行ったわけですが、ある程度深まったかなという気持ちはしています。

【記者】 ありがとうございます。

【秘書広報課長補佐】 ほかにいかがでしょうか。

それでは、次第の3番目、フリーの質疑応答へと行きたいと思います。こちらも幹事社さん、お願いします。

【記者】 ふげんに関してなんですが、年度内の搬出とはいえ、まだ出ていない状況なんですけれども、これに関して市長の現時点での受けとめというかお考えをお聞きできればと思うんですが、いかがでしょうか。

【市長】 おっしゃるように、ふげんについては、まだいつになるかということが決まっておきませんので、できるだけ早急にということでは思っています。説明できる内容が整い次第、速やかに報告に来てくださいということは言っていますので、敦賀市としましては、まず安全が第一に、そしてできるだけ早く搬出ということで、工程がもう本当に押し迫っていますけれども、求めているところです。

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社伺います。ご質問がありましたら挙手をお願いします。

【記者】 予算の話に戻るんですけれども、今回、過去4番目の大型予算ということになっているんですけれども、一般会計で見ても。基本的にはハーモニアスポリス構想の先導事業であるとか、あるいは北陸新幹線の開業に向けたまちづくり関係とか、先ほどは市長、幾つかおっしゃっていたんですけれども、中心的にはやっぱり地域経済の活性化に向けた積極的な予算と受けとめてよろしいのでしょうか。

【市長】 はい。予算規模からするといろいろな事業がありますので、地域経済の活性化にはつながっていくというふうに感じております。

もう一つは、北陸新幹線につきましても、ハーモニアスポリス構想につきましても、そして産業団地、工場誘致につきましても、先ほどのキャッチフレーズで言いましたけれども、未来へつながっていく、敦賀の礎を創造していくような予算になっているというふうに感じています。

【記者】 あともう一つ、新幹線のC案に推薦案決定ということなんですけれども、3案発表されたときに、市長は、公平を期すために私の意中の候補は言いませんということでしたけれども、一番推しの候補だったのでしょうか。

【市長】 最後まで言わないほうがいいのかなと思っています。

【記者】 私も予算に戻るんですけれども、積極的な予算ということなんですけれども、今回、市債の発行が非常にふえているんですけれども、これも積極的な予算であるがゆえにふえたのか、それとも堅実な財政という面から見て今回だけちょっとこれだけ市債がふえたのか、そのあたりの受けとめというのはどうなのでしょう。

【市長】 積極的な予算だからふえたというふうに思っておりますし、また財政的な補助の裏づけがあるものを選んでいったというのもあると思います。

部長のほうから詳しくは答えます。

【総務部長】 今回の市債の増につきましては、臨時財政に充てるものとか、借りかえという形での資金のものも上げておりますので、増加の原因が建設費用だけの市債ということにはなっていないという現状でございます。裏を返せば、市長が申し上げたとおり、積極的な事業を、あるいは国、県からの補助を裏とした形での事業を取り入れさせていたのだという考えを持って行ったということでございます。

【記者】 私も予算に戻るんですが、交通のところなんですが、コミュニティバスの利用促進事業費がついていますが、これはたしか若手の職員が考えたプロジェクトの中であつたと思うんですが、こういった初年度というか、今までもやったと思うんですが、かなり若手の意見を吸い上げるということに力を入れ始めて、こういう事業がすぐに結果を出したということに関して、市長の率直な感想というか、今後敦賀市を担っていく人材がこういうふうに活躍できる場が出てきているということに関して、市長としてどういうふうに思われるかというのを。

【市長】 まさにこれは若手の人たちが研究発表で言ってくれた事業なんです。ですから、こんなことがこの金額でできるんだということを非常に驚いたところであります。ですから若手のいろんな意見というのは本当にありがたいなと思っています。例えば東浦の農福連携につきましても担当のほうから上がってきた意見ですし、いろんなものが、皆さんの気持ちが前に向いているんだと、職員の気持ちが前に向いているんだというふうに思っています。うれしいです。

【記者】 予算で、先ほど国と県の財政の支援の裏づけがあるというふうにおっしゃっていましたが、それはハーモニアスポリスとか、あとどんなものがあるんですか。

【総務部長】 あとの大きなものとしますと、景観の刷新事業というのがあろうかと思います。

【記者】 ありがとうございます。

【秘書広報課長補佐】 ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これもちまして3月市長定例記者会見を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

午前11時34分 終了